

# 大島氏「口利き疑惑」否定

## 衆院予算委で答弁



衆院予算委員会では答弁する大島農水相「24日午前

公共事業に絡み、宮内寛・前秘書官の口利き疑惑が浮上している大島理森農水相は、二十四日の衆院予算委員会、宮内氏に関する調査結果を説明し、八戸市民病院をめぐる疑惑について、(宮内氏は)あいさつ程度の紹介はしたが、

見返りに金銭を受領したことはない」と述べ、あらかじめ現金授受を否定した。週刊誌報道で疑惑が指摘された世田谷区内の一軒家購入費やマンションのローン返済の原資については、貯金通帳などを示しながら説明した。

答弁によると、問題の一軒家購入やマンションのローン返済にかかわる経費は計一億二千九百四十六万円。対する資金手当は、判明分で計一億二千二百五十万円。大島氏は「不足分が六百九十万円強あり、出所が分からなかった」と述べた。

大島氏はそれぞれの内訳を示し、資金手当については、親族の遺産相続や生前贈与、預貯金解約分などを挙げた。二十四日発売(県内は二十五日)の週刊文春は「宮内氏に自分が金を渡した」という都内のコンサルタント会社役員A氏の証言を紹介。それによると、A氏は一九九七年十月、都内の料亭で大島氏本人と会った、としている。

大島氏は「当時の日程表に、その料亭に行く日程があった。多分、(A氏と)会ったことも事実かもしれない」と述べ、否定しなかった。

これに先立ち、大臣としての進退を問われた大島氏は「(前秘書官に関する疑惑の)事実関係を説明し、説明することが私の責務だ。その上に立ち、一層、身を律していく」と答え、進退への直接的な言及を避けた。